

平成22年10月25日

お知らせ

資料提供先：鳥取県政記者クラブ
米子市政記者クラブ

しんひのばし
国道9号新日野橋の拡幅工事が完成！！

～ 安全・安心・快適な通行が確保されます。～

1. 国道9号新日野橋拡幅工事の規制解除のお知らせ

国道9号新日野橋拡幅工事（米子市吉岡^{よしおか}～米子市車尾^{くずも}地内）は、新日野橋の東西にある交差点付近の渋滞対策、渋滞を起因とする交通事故対策及び自転車・歩行者の安心空間の確保を目的に、平成20年8月から右折レーンの設置及び歩道拡幅等の工事を実施してきました。

この度、工事が完成し下記のとおり規制解除となりますのでお知らせします。

規制解除日時：平成22年10月31日（日）午前5：00（予定）

※天候の状況等により、規制解除日時が変わる場合があります。

※規制解除日時以降に歩道内及び橋下での作業を行います。（車両に関係する交通規制は行いません。）

2. 今回の拡幅工事により期待される主な効果

【効果1】交通渋滞の緩和が期待されます。

右折専用レーンの設置により、スムーズな走行が可能となります。

【効果2】交通事故の減少が期待されます。

右折待ち車両や車線変更の際の交通事故の減少が期待されます。

【効果3】自転車・歩行者が安全に通行できるようになります。

歩道の幅が1.5mから2.5mに拡幅されます。

【効果4】円滑な救急搬送を支援します。

救急車の円滑な救急搬送（630件/年・H21実績）が可能となります。

問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局

倉吉河川国道事務所 TEL（0858）26-6221（代）

副所長（道路） 芋岡 利昭（いもおか としあき）

【担当】 調査設計第二課長 山内 和則（やまうち かずのり）

倉吉河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi>

1. 新日野橋の拡幅工事の概要

①【今までの新日野橋は】 工事前（下図）

- ・国道9号新日野橋東西にある両交差点とも、右折待ちの車が並ぶことが多く、直進する車を阻害していました。
- ・そのため、右折待ちの車を避けようと急な車線変更による事故が多発していました。

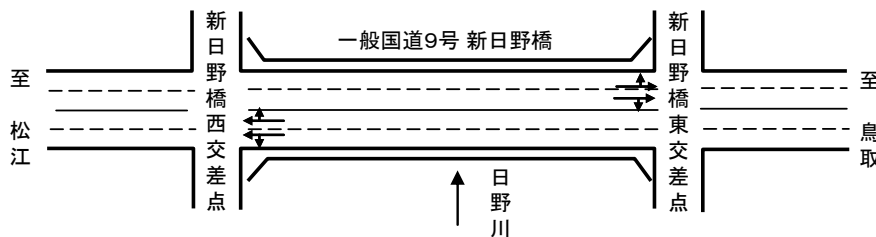
②【工事完成後の新日野橋は】 工事後（下図）

- ・新日野橋の東西にある両交差点（東詰、西詰）に右折専用レーンを設置する工事と併せて、歩道を拡げる工事を行ってきました。
- ・これにより、スムーズな車の通行が確保されるとともに、自転車・歩行者の方が安心して利用できるようになります。

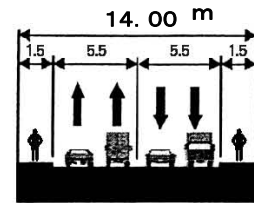
位置図



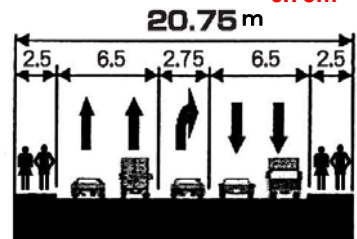
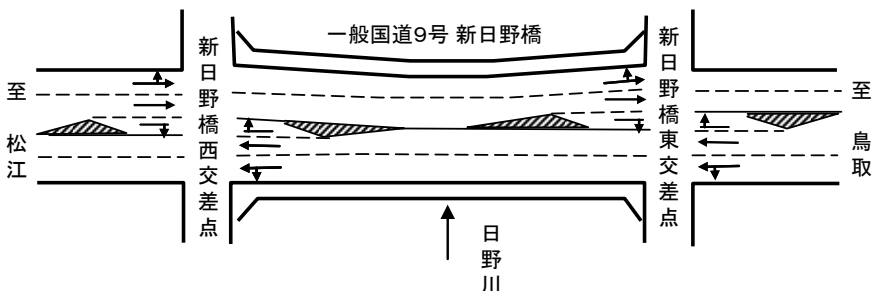
①工事前(片側2車線右折専用レーン無し、歩道幅1.5m)



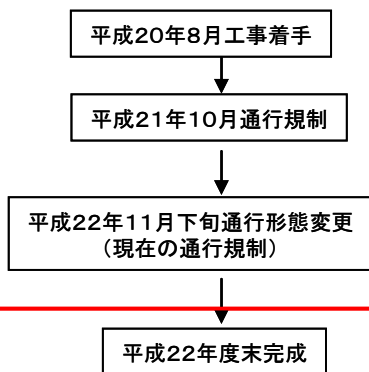
《交差点付近断面図》



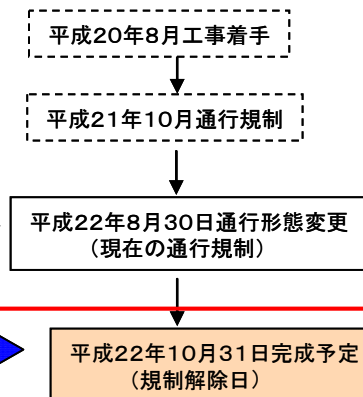
②完成時(片側2車線右折専用レーン有り、歩道幅2.5m)



【当初予定工程】



【変更予定工程】



通行形態内容の変更

完成予定年月の変更

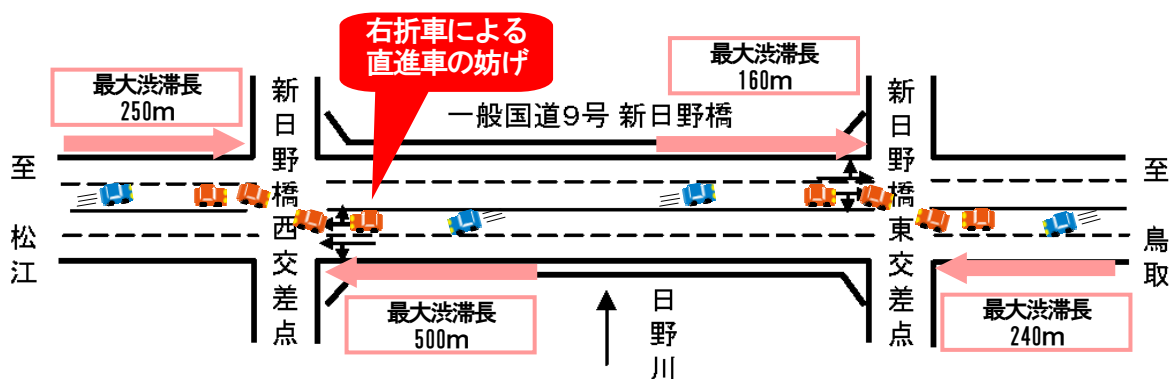
今回のお知らせ内容

2. 今回の拡幅工事により期待される主な効果

【効果1】交通渋滞の緩和が期待されます。

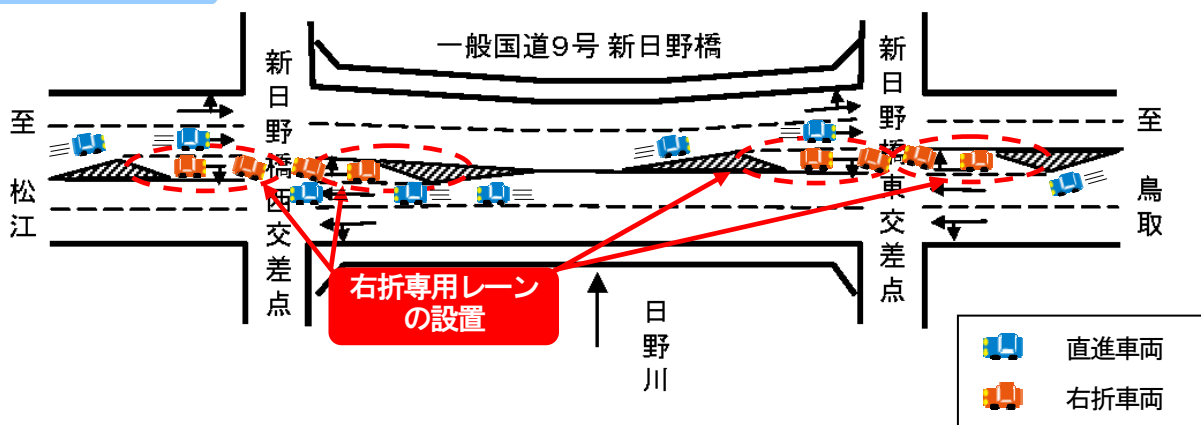
- ・右折レーンの設置により、右折車による直進車の妨げがなくなり、渋滞の緩和が期待されます。

拡幅工事前



※新日野橋東詰交差点：平成18年11月14日調査
新日野橋西詰交差点：平成18年5月16日調査

拡幅工事後



【周辺の事業所の方の声】

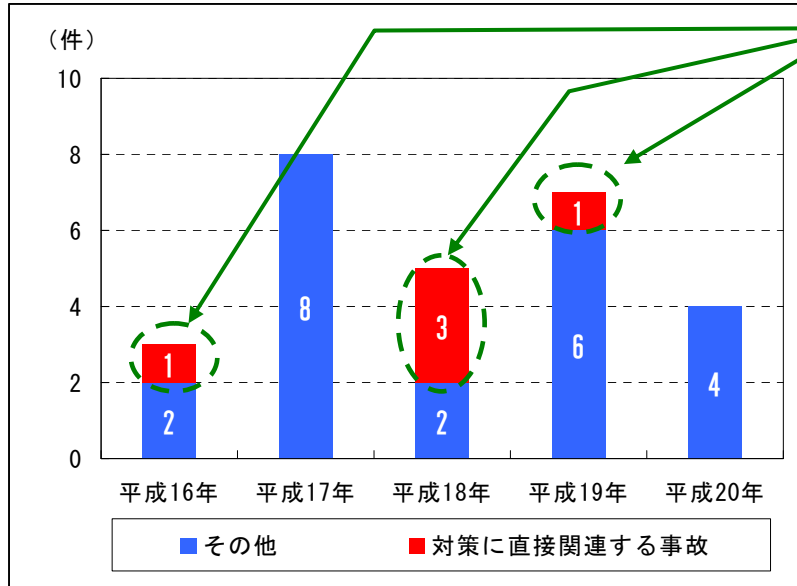
新日野橋を、毎日約100人の従業員が通勤時に利用しています。右折レーンが設置されることにより、渋滞が緩和されることを期待しています。

(事業所ヒアリング調査 (H22.9月実施) より)

【効果2】交通事故の減少が期待されます。

- ・右折レーンの設置により、急な車線変更による事故が減ります。また、渋滞の解消により、追突事故も削減が期待されます。

新日野橋付近の事故発生件数



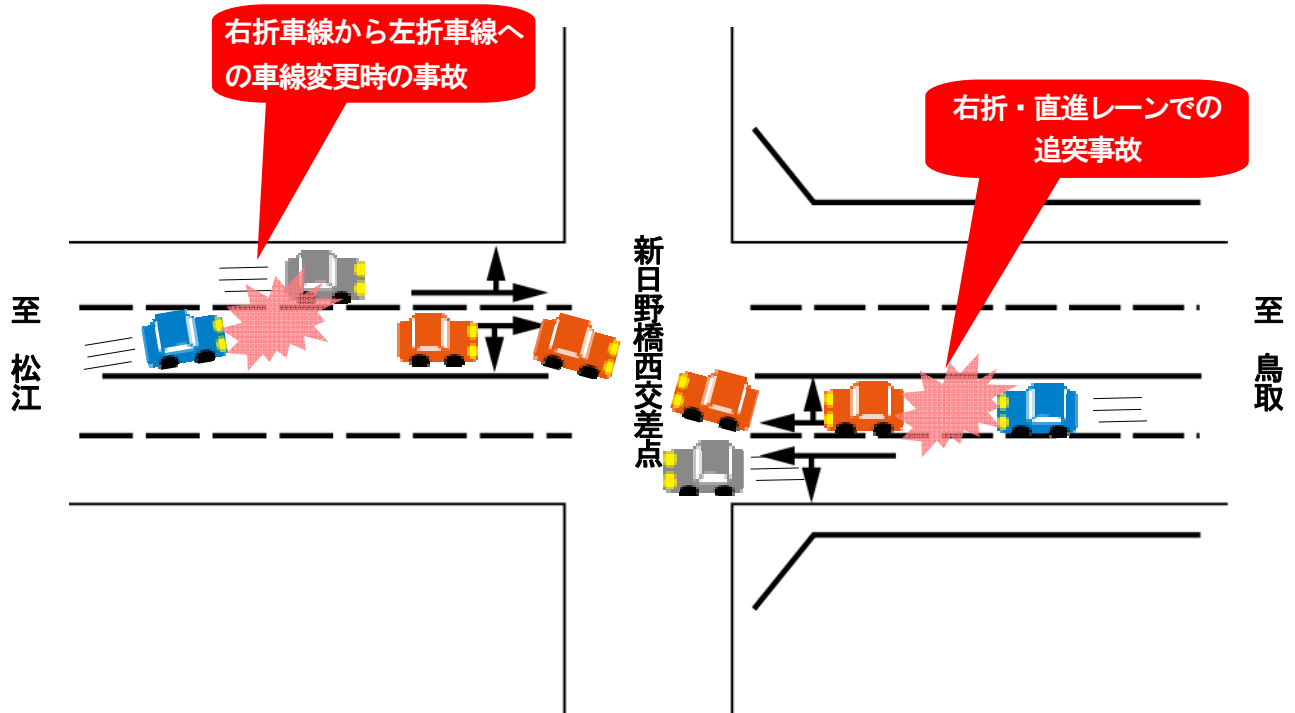
5年間で27件の交通事故が発生しており、そのうち5件は右折レーンがないことに起因する事故です。

右折レーンの設置により、これらの交通事故の減少が期待されます。

その他の事故も、多くが渋滞末尾への追突です。これらの事故の大幅な減少が期待されます。

- ※対策に直接関連する事故
- ・右折車線から左折車線への車線変更時の事故
 - ・右折・直進レーンでの追突事故

※出典：イタルダデータ

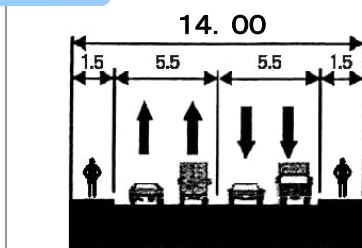


【効果3】 自転車・歩行者が安全に通行できるようになります。

- ・歩道の幅が1.5mから2.5mに広がることにより、自転車・歩行者が歩道上で安全にすれ違いをできるようになり、安全に通行できるようになります。

拡幅工事に伴う断面構成の変化

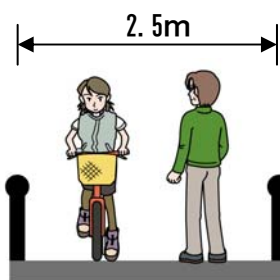
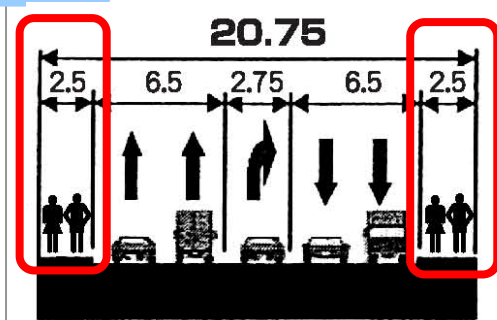
拡幅工事前



▼すれ違いに苦労する通学中の高校生



拡幅工事後



自転車・歩行者の
安全なすれ違いが可能に

【周辺の高等学校の先生の声】

- ・歩道が広がることで、通学の際に歩行者や自転車との接触等の事故がなくなることを期待しています。
- ・新日野橋を渡る学生が安全に通行できると思います。

(学校ヒアリング調査 (H22.10月実施) より)

【周辺の事業所の方の声】

- ・自転車で通勤している社員も多くいますが、幅が広がることで自転車同志のすれ違いも容易になることを期待しています。また車道との間隔に余裕ができることで、車が横を通過する際の水しぶきも回避できるのではないかと思います。

(事業所ヒアリング調査 (H22.9月実施) より)

【効果4】円滑な救急搬送を支援します。

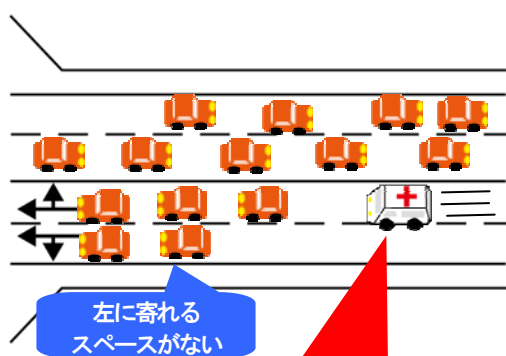
- ・新日野橋周辺には山陰労災病院、国立病院機構米子医療センターなどの救急病院が立地しており、新日野橋を利用した搬送件数が約630件/年（H21）にのぼります。
- ・右折専用レーン設置や車線幅が広がることで、より円滑な救急搬送が可能になります。

新日野橋を利用した救急医療搬送の状況



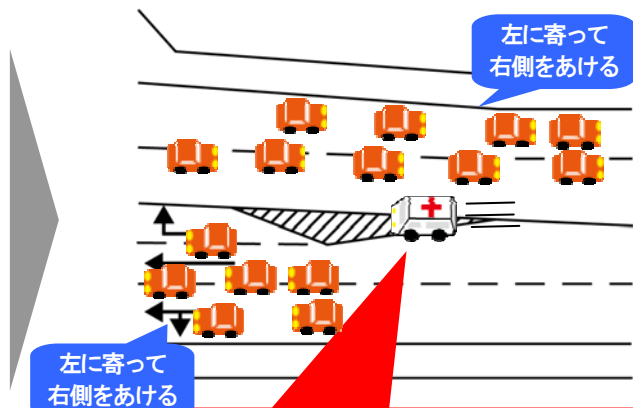
※出典：鳥取県西部広域行政管理組合消防局

拡幅工事前



渋滞時に救急車両が追い越すことが困難であった

拡幅工事後



右折レーンを設置することや車線の幅が広がることで、救急車両が通り抜けることが可能となる

【救急隊員の方の声】

- ・拡幅工事前は右折専用レーンがなく渋滞しており、さらに車線の幅が狭かったため追い越しが難しく、時間がかかっていました。
- ・拡幅後はこれらの問題が解消し、1分1秒を争う救急搬送を円滑にできるようになると期待しています。

(鳥取県西部広域行政管理組合消防局 ヒアリング調査 (H22.9月実施) より)